

児童生徒の「学びたい」を育てる

「明日も学校にいきたい」がえられる

わかりやすい 動きやすい 取組やすい 授業の実践

<日々の授業>

- 【言える化】目的を一言で言える
- 【見える化】何をするか見える
- 【わかる化】授業がわかる

<児童生徒がサブティーチャーに頼りすぎない授業>

○授業における人的環境の見直しによる適切な指導・支援を行う

目指す学校像

- 児童生徒と教職員の笑顔があふれる安全で安心な学校
- 児童生徒が主体的・協働的に授業に取組 もっと学びたいを育てられる学校
- 児童生徒の活動が見え、児童生徒の声が聞こえる学校
- 児童生徒も教職員もみんながほめられる、認められる、活躍できる学校
- 地域、保護者、関係機関等と連携・協働できる魅力ある学校

各部の取組

小学部	中学部	高等部	訪問教育
楽しく学び、楽しく生活し、社会参加の基礎を養う。	自主的、協働的に学ぶ態度を養い社会性を高める。	自ら学び・考え、主体的に社会参加する意欲・知識・技能を高める。	自分の気持ちを表現するなどの主体的に活動する力を高める。

評価

保護者、教職員等アンケートの実施

学校教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、将来の自立と社会参加を目指し、児童生徒が主体的に学びながら、社会の中で明るく、自分らしく、生活していく力を育成する

目的

RPDCAサイクルに基づく

「個別の指導計画の目標の達成」を目指し行う

教職員の研究研修

- ★教師一人一人が責任をもった研究・研修の実施
 - 各自が目標設定し実施をする
- ★授業及び校務におけるICTの活用力の向上
 - 授業の質の向上、業務の効率化を図る

安全安心と魅力ある学校のために

<安全・安心の実現>

- 気づける → 児童生徒の体調の変化、サイン等
- 防げる → 整理整頓、清掃等による怪我・事故を起こさない環境づくり
- 守れる → 緊急時、災害時の対応力の向上
みんなが自分の命を守る力の向上
- 認め合える → 肯定的な思考・言葉による心の安全・安心

<魅力ある教職員の姿勢>

- 児童生徒の手本となる態度・行動、言葉遣い等
- 日常的な整理整頓、清掃等の実施

<魅力ある学校であるための働き方改革>

- 研究・研修等、研修や会議等の持ち方、方法の工夫
- ICT等の活用による業務の効率化
- 校務目的の明確化による業務の精選やその推進（スクラップ・ビルド）